

# 令和5年度 井上綾乃保育ゼミ通信 1

令和5年6月27日  
和光市 保育センター

井上綾乃保育ゼミは、発達支援について学ぶゼミで、令和4年度からの継続した内容となっています。5月22日に行われた第1回目では、支援をする大人が自分自身を理解することで、子どもの見え方も変化することや、子どもの行動を肯定的に見ることの大切さを学びました。

## 子どもの行動を 肯定的にみよう！

肯定的な見方…  
「食べ終わるまで  
座っていたら」

否定的な見方…  
「食べ終わると  
すぐに立ち上がる」



## メタ認知を使おう！

自分がどのように認知しているのかを客観的に認知する事を「メタ認知」と言います。  
「メタ認知」を使って自分の行動を考え、変容に繋げましょう。

ついここに注目しがち。  
でも、しっかりと段階を踏むことが大切です。

## 承認の5段階

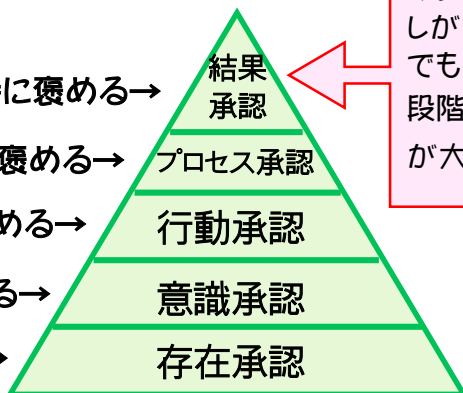
できた時に褒める→

途中のがんばりを褒める→

やり始めたら褒める→

「やろう」と思っていそうなら褒める→

いるだけで素晴らしい！→



## 現状把握表

- ・その子の得意と不得意を把握しましょう
- ・毎回100%できなくても、60~70%できていることは「いいところ」です

いいところ	努力しているところ	困ったところ
ex.年下の子のお世話をする	ex.手伝うと支度をしようとする	ex.怒ると物を投げる

## 「困ったところ」の中からギリギリセーフ行動を見つけよう！

困った行動でも、肯定的に見ることでギリギリセーフになる行動がある。



〇〇だけど〇〇

ex.怒ると物を投げる事が多いけれど、大声で叫ぶだけの事もある。



ギリギリセーフを見つけやすい状況があることを確認する。

ex.怒った時に物を投げるのは、散らかった部屋にいる時が多い。整理整頓された場所では叫ぶだけの事が多い。



子どもの行動を睡眠、食事、遊び、排泄、行動、言葉、対人、着脱、気持ちの整理のカテゴリーに分けることで、その子の強み(得意)や苦手な事がわかりやすくなる。

子どもの得意な事は褒めて、苦手な事は積極的に支援する！  
自分をモニタリングして、自分の思考を変えることを意識する！



グループワークを交え、考えながら参加することでより理解が深まるゼミです！次回は【7月31日(月) 13:30~15:00】です。

和光市 保育センター

048-483-4407